



加治丘陵ハイキング

2025年4月27日（日曜） Report by I. Ikeda

加治丘陵、ハイキングに行ってきました、参加者は、熊本さん、高橋雄さん、高橋文さん 安部さん、と池戸。（計画では、26日（土）であったが天気が良い27日（日曜）変更）

加治丘陵は、昔の多摩川が山から運んできた砂や石が積もりつもった扇状地として狭山丘陵といっしょに生まれました。その後、昔の多摩川によって2つに分断され、それぞれ「狭山丘陵（さやまきゅうりょう）」「加治丘陵（かじきゅうりょう）」と呼ばれるようになりました。どちらも、もとは広くて平らな土地でした。それが小さな水の流れに削られ続けてたくさんの谷ができ、加治丘陵は急斜面の多い丘陵地になりました。もとが平らな土地であったことを教えてくれる証拠として、遠くから見ると稜線が平らに見えます。



歩いたコースは、武蔵野音楽大学入間キャンパス近くに登山道入り口があり、旧サイクリングコースの北コースから入り、桜山展望台から南コースで武蔵野音楽大学に戻る標高差130m程度の周回コースで歩行時間3時間弱の歩きやすい高齢者向けのハイキングコースである。

桜山展望台近くの東屋やいくつかのテーブル、ベンチ、トイレ（水場）もあり、桜の咲く時期に鍋をやるには良いだろう。又、日帰り温泉「入間の湯（¥500）」へは土曜と平日に仏子駅からコミュニティーバスが運行している。



仮子駅南口集合 9：19 記念写真を撮る。



駅を出て左に歩き右に曲がると最初の標識 道なりに進む 9：31
山道に差し掛かると、多くの花が出迎えてくれた



モチツツジ



モッコウバラ



ムラサキハナナ



ムラサキカタバミ



9：33



桜山展望台の標識 9：34



ニガイチゴ



タツナミソウ



ムラサキハナナ



ウツギ



バライチゴ



トリガネソウ



9 : 5 3



クサイチゴ



9 : 5 6



ツツジ



ツルニチニチソウ



オンツツジ



ガマズミ



9 : 5 3



ウツギ



9 : 56



桜山への標識 10 : 00



休憩 10 : 07



10 : 08 入間市が一望できる



入間市を見通す森に有った フジの花



ヤマツツジがコース上に咲いていた

10 : 23



ツツジ



10:23ツツジが咲く山道



10:27急階段現る、激下り、下った所にトーベヤンソンあけぼの子供の森公園に至る



10:35



10:37



10 : 42



トーベ・マリカ・ヤンソン (Tove Marika Jansson [tu've mari:ka ja:nson] (1914年8月9日 - 2001年6月27日) は、フィンランドのヘルシンキ生まれのスウェーデン系フィンランド人の画家、小説家、ファンタジー作家、児童文学作家。日本語表記にはトーヴェ・ヤンソンもある。ムーミンの作家である

トーベヤンソンあけぼの子供の森公園を出て、桜山展望台へと山道を登って行く。途中にヤマツツジが見事に咲いているところがあった。



ヤマツツジ



11：14 ヤマツツジをバックに記念撮影



タンポポ

シャガ

チゴユリ



レンギョウ

シロダモ？

桜山の標高クマさん時計

桜山展望台へ 11:30 到着



桜山展望台見学後、昼食（昼霞で眺望は良くなかった）、雄さん持参の純米酒で乾杯



昼食後 12:09 桜山展望台から下山開始



12:16 昼食後軽快に下る



帰りの道筋の山に多くのフジが咲いていた





シャガの群生 南コースに多く咲いていた



ハナミズキ



12:48 ミズキ



入間の湯 入浴後休憩室で無事ハイキング終了を祝 乾杯 14:16

以上